設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

74. W. 4L a. 1. 11																
建築物の名称																
建築士の氏名					建築土番号											
審査員氏名	-				(九朱工田・)	II.										
7-to Andre +th 2004 2-1.	\-\.	A III e	m/- m	71 74 Mr +	Nikyl, a lip dayth of a date.											
建築基準法へ新築時の長期	_				準法の規定違反の有無	宅認定の取り下げを行っ	-)									
利架时の区別	変尺	生七節	ルル	万確認 初梁四	の文別度及住宅認定の有無 二無 1 1 1 1 利条時の文別度及住	七節圧の取り下りを打・	S)									
現況検査で確	認で	きなか	った	対象部位 有	(□増改築時に確認し、劣化事象が見つかった場合には、補修または補修を行え対応内容 及び時期を定めた。)	っない箇所については終	推持保全計画に補修	・点検等の								
現況検査で判	明し	た劣化	事象	の対応口は		カロッパル出と、ウムト										
(増改築時に半	明明し	たもの	を含	(記) 日 僧	修または補修を行わない箇所については維持保全計画に補修・点検等の対応内?	谷及い時期を正めた。										
□ 次の性能に□ 劣化対					めの増築または改築を行う。 ⇒ 性 □ 維持管理対策 ⇒ 具体的な工事の内容 (代表的な工事を以下に	記載する。)								
					図書の分類											
長期優良住宅					生能評価書の図書 □ フラット35適合証明書の図書 □ 公庫融資現場判定通 分の仕様について、現況と図書に相違がないことを確認した。	知書の図書 🗌 確認液	脊証+検査済証+図	書								
る既築部分(増分)の仕様につ				□ 設計住宅付	生能評価書の図書 □ その他図書()										
る図書がある場		MAC	. 0.		分の仕様について、性能項目ごとに一箇所以上抽出し現地等で確認又は施工記分の確認方法 □ 施工記録書 □ 現場写真 □ 納品書	!録書等により図書どお □ その他 (りであることを確認し)	た。								
				□その他図書	<u> </u>											
上記図書	がない	小場合			分の仕様について、性能項目ごと、部位・仕様ごとに一箇所以上抽出し現地等で 作成した。	確認又は施工記録書等	等により図書どおりで.	あることを								
				既築部	分の確認方法 □ 施工記録書 □ 現場写真 □ 納品書	□ その他 ()										
	確		認		設計內容説明欄 ※			設計内容								
認定事項等	項			項目	設計內容	記載図書	増改築の実施	確認欄								
1. 構造躯体	外	壁	0	外壁の構造	・ 外壁通気構造等 (□ 通気構造等 □ その他)	□仕上表	□ 増改築を実施									
等の劣化対策	軸	組	等	(地面から1m)	・柱[□製材 (樹種)	□ 伏図										
					□ 集成材等(種類)]											
□ 本基準に 係る全て					小径(cm)											
の増改築					薬剤処理[
を実施しない					□ 露出部分の防腐・防蟻処理+維持保全の強化 ・ 柱以外の軸材[□ 製材(樹種)	-										
					集成材等(種類)]											
					薬剤処理[□ 有(方法) □ 無											
					□ 露出部分の防腐・防蟻処理+維持保全の強化											
					・ 構造用合板等の種類 構造用合板)	1										
					薬剤処理[□ 有(方法) □ 無											
					□ 露出部分の防腐・防蟻処理+維持保全の強化	_										
					□ K3以上の薬剤処理(工場処理)											
	土		台	防腐・防蟻		□ 仕上表	□増改築を実施									
				処 理		□ 伏図										
					案別及直											
	浴:	室・膨	衣	防水上	1	□仕上表	□ 増改築を実施									
	室	の防	水	の措置	□ その他の防水措置 □ 防腐措置)											
					方法: (_										
					・ 脱衣室(□ 防水上有効な仕上げ □ その他の防水措置											
					□ 防腐措置)											
	地		ġņ.	防蟻措置	方法: () ・防蟻措置 (□ 有 □ 対象区域外)	□ # L =	□ 幽水体****									
	16		淦	: 197 39% 1日 1旦	・ 切城打直 (月 一 対象区域が) 「 べた基礎等 一 土壌処理 一 その他	□ 仕上表	□増改築を実施									
					土壌処理方法(
					□ 基礎内周部にコンクリート打設 + コンクリートのひび割れ等による隙間なし	 -										
					+維持保全の強化											
	基	礎 高	i ż	基礎高さ	・ 地面から基礎上端又は土台下端までの高(mm)	□ 仕上表	□ 増改築を実施									
					□ 400mm以上	□ 矩形図										
				ate and the second	□ 300mm以上+基礎まわりの雨はね防止措置+維持保全の強化											
				床下地盤面		□ 仕上表	□増改築を実施									
	指	直	寺	の防湿措置		□ 基礎伏図 □ 矩形図										
					□	□ 矩形図										
					+維持保全の強化											
	床	下 換	気	床下換気		□仕上表										
				措置	維持保全の強化 (□有 □無)											
					(開口高さ mm 、幅 mm)]											
					ねこ土台 (有効面積 cm²/m 、高さ cm)		<u> </u>	<u> </u>								

	小	屋	裏	小	屋裏	換気	・ 小屋裏の有無(□ 有 □ 無) □ 仕上表	□ 増改築を実施	
	換		気	措	:	置	・ 換気口位置 (給気口: 排気口:) □ 立面図		
							□ 換気口の面積の天井面積に対する割合 □		
							(給気口: 排気口:)		
							□ 野地板等の小屋裏木部が湿潤していない+維持保全の強化		
	点	検指	告 置	床	下	空間	・床下空間への設置 点検口 (□有 □無) □ 平面図	□ 増改築を実施	
				小	屋裏	空間	・床下有効高さ (mm) □ 伏図		
							□ 床下空間の有効高さ (mm)		
							□ 点検口から目視等により点検可能		
							・ 小屋裏空間への設置 点検口 (□ 有 □ 無)		
	劣	化 事	¥ 象	1			□ 劣化対策に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない		
				事			□ 劣化対策に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められたが補修を行う		
※この欄に記載	_	れてい		_	は、必要	要な範	目内で、個別の申請において詳細に設定してください。	,	
認定事項等	確		認	_			設計内容説明欄 ※ 記載図書	増改築の実施	設計内容
	項	34. 6		項		_ E	設計内容		確認欄
2. 耐 震 性	構			検	証	万法	■ 新築時の耐震性を確認でき、耐震性に影響のある増改築等 □ 構造計算書		
□ 未甘油ル	++	及び ***					が行われていない		
□ 本基準に 係る全て	基	耀	等				□ S56.6.1以降着工 □ TIPS (1/2) + 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1		
の増改築							□ 耐震改修法告示Iw値≥1.0 □ 耐震改修法告示と同等()		
を実施しない							□ 耐震改修法告示と同等()) □ 耐震等級(倒壊等防止)等級1以上		
3.1							□ III展等級(四級等的正)等級1以上 □ 免震建築物		
							□ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号による免震建築物		
							・ 同告示第2の該当する号		
							□ 一号(四号建築物)		
							□ 二号(建築基準法第20条第二号に掲げる建築物)		
							□ 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得)		
							 免震層、免震材料の維持に関する計画 		
							□ 免農材料等の維持管理に関する計画		
							□敷地の管理に関する計画		
	耐	力	壁	筋	交	V	·種類 () 寸法 () □ 構造伏図	□ 増改築を実施	
				而	ナカ	壁	·種類 () 寸法 () □ 矩計図		
				木	摺而	力型	・種類 () 寸法 () □ 仕上表		
							·間隔 ()		
				面	材耐	力型	·種類 ()		
							・面材厚さ (mm) 倍率 ()		
							・釘種類 (
	準	耐力	〕壁	木	:	摺	・種類 () 寸法 () □ 構造伏図	□ 増改築を実施	
				準	耐	力壁	□ 矩計図		
				面	材耐	力型	・種類 ()		
							・面材厚さ (mm) 倍率 () □		
							・釘種類 (mm)	<u> </u>	

I				
床 組 等	火打ち構面	·種類 ()	□ 構造伏図	□ 増改築を実施
		・隅長 (取合梁背 ()	□ 矩計図	
		・火打ち構面位置 ()	□ 仕上表	
	2 階 床 面	•面材の種類 ()	<u> </u>	
		•根太間隔 (mm) 工法 ()		
		and the second s		
	0 # + 7	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-	
	3 階 床 田	・面材の種類 ()		
		・根太間隔 (mm) 工法 ()		
		・釘種類 (
	小屋床面	•面材の種類 ()		
		•根太間隔 (mm) 工法 ()		
		• 釘種類 () 釘間隔 (mm)		
屋根面	屋根勾配	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□ 構造伏図	□ 増改築を実施
		・面材の種類 ()	□ 矩計図	
	生 仏 冊 囲	·垂木間隔 (mm) 工法 ()	□ 佐上表	
		and the second of the second o		
Life A tim	fefer I co. IIII Ion -	・ 釘種類 () 釘間隔 (mm)		
		・接合部の仕様	□ 構造伏図	□ 増改築を実施
	接合部	(□ 仕上表	
		(
	柱脚・柱頭の	・柱脚・柱頭の接合部の検証方法		
	接合部	□ 平成12年建設省告示第1460号(仕様規定)		
		□ N値計算法		
		□ 許容応力度等計算		
		□ その他()		
	ktt: hn ++			
		・接合部の仕様		
	接合部	(
		(
	胴差しと通し	・接合部の仕様		
	柱の接合部	(
		(
基礎	基礎の形式	□ 布基礎 □ べた基礎	□ 基礎伏図	□増改築を実施
		□ その他 ()	□ 構造計算書	
	计法及7% 配	□ スパン表による	□構造伏図	
		(種類:)	□ 押显伏区	
			_	
ŀ	万 法	□ 許容応力度計算による		
		□ その他 ()		
	アンカー	·品質 ()		
	ボールト	・埋め込み長さ (mm)		
		·位置·間隔 ()		
横架材		コスパン表による	□ 構造計算書	□ 増改築を実施
124 714 13		(種類:)	構造伏図	
	カ 佐	□ 許容応力度計算による		
		□ その他 ()		
劣 化 事 象	著しい劣化	□ 構造耐力に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められない	1	
	事 象 等	□ 構造耐力に大きく影響すると見込まれる劣化事象等が認められたが補修を行	· 5	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

認定事項等	確	認		設計内容説明欄※	記載図書	増改築の実施	設計内容
恥足争负守	項	目	項目	設計內容	礼取囚官	相以架の 天旭	確認欄
3. 可 変 性				(一戸建て住宅のため該当なし)			
4. 維 持 容 男性 更新の容易性 (専用配管) (ガス管を除く) □ 本基準に 係る全改で 本実施し ない	地中埋設*	管	内埋込み配管 地中埋設管上 のコンクリート 打 設 排 水 菅 の	□ 給水管 (□無 □ 維持保全計画に将来的な適合を計画) □ 給湯管 (□無 □ 維持保全計画に将来的な適合を計画) □ 排水管 (□無 □ 維持保全計画に将来的な適合を計画) □ 給水管 (□無 □ 維持保全計画に将来的な適合を計画) □ 給湯管 (□無 □ 維持保全計画に将来的な適合を計画) □ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている ・ 便所	□ 仕上表 □ 平面図 □ 矩形図 □ 仕上表 □ 平面図 □ 位上表 □ 平面図 □ 配置図	□ 増改築を実施 □ 増改築を実施 □ 増改築を実施	
	排水管の形 等(継手及で ヘッダーを? む)	ĸ	内 面	[□ 排水ますに隣接 □ 掃除口 □ 露出又は開口有] ・ その他の水まわり	□ 仕上表	□ 増改築を実施	
		П	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部	□平面図□	□増改築を実施	
5. 高齢者等対 策				(一戸建て住宅のため該当なし)			

設計内容説明書【一戸建ての木造軸組住宅用】

- 学灯	定事項	. AzAz	確認	2			設計內容説明欄※												記載図書	増改築の実施	設計内容
pic.	化争 均	守	項目	1	項目	1	設計内容									記載凶音	増以架の美加	確認欄			
						[」断	熱等作	性能等	静級	(□ 等	級4] 等級3)					
	省エネ								E宅•伯		算力	テ法									
ギ	一対	策	適用する基準						2仕様												
	1 44 3		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						ネルギ				1								
	本基準係る全	さて					_		E宅·伯		一算プ	テ法									
	の増む	文築	DL 1-4 → A			1			2仕様	基準	_							<u> </u>			
	を実施ない		地域区分			- 1] 1±				=	2地域			□ 3地:						
l.	-					- 1	☐ 4 [‡]				=	5地域			□ 6地:	域					
-	断熱		またタ. ケク	_		+	7±	_ / ·		7. \-f-	_	8地場	Ž.					<u> </u>	- I fele de		-11.
性	能等方	做 】	非住宅·住宅 計算方法		外皮平均熱質流率		」 外	皮半‡	均熱貫	「流率			// 2	\				_	計算書	□ 増改築を実	:施
				L	於 貝 / A 年 冷 房 期 の	+	(un		41			N/(m²•	K)							
					平均日射	ţ └	冷	房期の	の平均	月月射	熱助	7得率	η AC								
			住宅仕様基準		熟取得率 躯体の	_			tols arms \ad		++ 244)	^	_	7 60 4 14 5	TII	H (=0/60T.)	_	/ 1 136 alls		-44-
			住七山家巫 华		断熱性能等	2 2			熱貫流								外気床(5%緩和)			□ 増改築を実	: 旭
						15		,,,,,	の熱抵	, -			_				外気床(5%緩和)	_	忙上表 矩形図		
				ŀ	外皮の熱貫流	-			衙門10	/	いし地				−ト造等の 貫流率(み)	W/m²•K)	╁			
				ŀ	率の基準また	ľ	全亿	(,			貝伽罕(抵抗(m²•K/W)				
					は、断熱材の 熱抵抗の基準		F #)		•••••	貫流率(m • K/ W/ W/m² • K)	4			
					然扱がルク基準	1	ヘ开	(,			貞ഡ平(抵抗(m²•K/W)				
						Æ)		•••••	貫流率(W/m²•K)	-			
						1	12.	(,			質パーへ 抵抗(m²•K/W)				
						 E	 末	外与	に接	ナスさ	R分			•••••	貫流率(W/m²•K)	-			
						ľ		(11-15	, 00 11	10/5)	部位				m²•K/W)				
								その	他の語	部分					貫流率(W/m²•K)				
								(, ,	-1.70)	部位				m²•K/W)				
							上間	外复	に接	する音	73分				貫流率(W/m²•K)	1			
							末等 の外	()	部位				m²•K/W)				
							フラト 割部	その	他の語	部分			部位	の熱	貫流率(W/m²•K)				
								()	部位	の熱	抵抗(m²•K/W)				
					開口部の		開	口部の	の断熱	性能	等に	関す	る基準	こ適つ	合				仕上表	□ 増改築を実	.施
					断熱性能等	È] 緩和	1措置	有り									平面図		
									窓の関	折熱(2	2%≉	爰和)] 窓	その日射(4	1%緩和	1)				
			結露防止対策		結露の発生 防止対策		一防	湿層の	の設置] (繊維	住系	析熱材	才等を使	戸用す	ける場合)			_	仕上表	□ 増改築を実	:施
					的 止 刈 东	ž		〕設置	置 ()				矩形図		
] 省略	各 ()						
]通	気層の	の設置	【外星	産・屋	根を	折熱構	造と	する場合)						
							屋		[[) [] 省略()]				
						1.			層の					_)				
) []省略()]				
			ds # == *	4		1			風層の		_)	<u> </u>			
			劣化事			- 1											認められない	Į			
					事 象 等	ř [断	熱等0)性能	に大き	く影	響する	5と見込	まれる	る劣化事象	等が認	められるが補修を行	·5			

Ir w. s.	北井/ 日本	AL HONGAS AND		D	++	1
一次エネル	非住宅・住宅	外及性能但	□ 一次エネルギー消費量計算結果による	□ 仕上表	□ 増改築を実施	
ギー消費			・外皮平均熱貫流率(U _A 値)	□ 計算書		
量 等 級 】			・冷房期の平均日射熱取得率 η AC	□面積表		
			・暖房期の平均日射熱取得率 η AH	□ 平面図		
				□ 機器表		
		面積等	□ 一次エネルギー消費量計算結果による	□ 系統図		
			・床面積の合計			
			・主たる居室の面積			
			・その他の居室の面積			
		一次エネル	□ 一次エネルギー消費量計算結果による			
		ギー消費量	・基準一次エネルギー消費量			
			・設計一次エネルギー消費量			
		設備機器等の	□ 一次エネルギー消費量計算結果による			
		仕様	□ バーバグ (旧文室町弁備水にある			
	住宅仕様基準	平 豆 弘 借	・ 曜戸七式 (
	正七山塚巫华	极加加	100000000000000000000000000000000000000			
			・暖房機器の仕様等			
		公司机供		-		
		冷房設備	· 冷房方式()			
			・ 冷房機器の仕様等			
			(
		換気設備	・ 換気機器の仕様等			
			(
		照明設備	□ 非居室に白熱灯または同等以下の性能の照明を採用していない			
		給湯設備	□ 給湯熱源機の種類等 ()			
	劣化事象	著しい劣化	□ エネルギー利用効率化設備のいずれも作動するものであることを確認した			
			□ エネルギー利用効率化設備等のうち作動しないものがあるが補修を行う			
7.住宅の規模	住宅面積		住宅の専用面積 (m²)	□ 求積図		
			 40㎡以上ある階 			
			(階)(m²)			
			うち階段部分面積 (m ²)			
8. 維持保全		維持保全		□ 申請書		
の方法		の期間等				
00 万 伍		の期间す	□ その他の基準への適合	□ 維持保全		
0 次 0 引 玉		井田の部台	□ /4//c/ (- 1-7	計画書		
9. 資金計画		貸用の設定	□ 建築に要する費用の設定	申請書		
40 E N	. t t	100 H 21 H 17	□ 維持保全に要する費用の設定			
			・地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例、その他地方公共団体が	□別添		
への配慮	へ の 配 慮	へ の 適 合	自主的に定める要綱等がある区域			
			□ 区域外			
			□ 区域内 該当する地区計画等の名称 ()			
			□ 適合			
			・住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、所管行政庁が			
			選定・公表したものの区域			
			□ 区域外			
11. 自然災害		区域等への	・自然災害のリスクが特に高い区域	□別添		
への配慮		該当有無				
"			・自然災害のリスクに応じて、建築禁止から建築制限まで、			
			所管行政庁が選定・公表したものの区域			
			□ 区域外			
			・一定の自然災害のリスクはあるものの、			
			建築制限はなく一律に居住を避けるべきとまではいえない区域			
			□区域外			
			□ 区域内()			
			□ 所管行政庁が定める必要な措置に適合			

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。